



1. 3年間の取組みを発表して来ました。

2月3日、北海道看護協会において開催されました『平成29年度看護職のワークライフバランス推進フォローアップワークショップ』に参加施設として3年間の取組みを発表して来ました。

3年後のゴールの達成状況ですが、4～5年目の看護師の定着と介護の制度認知に対する指標の2つのみ達成することができました。実際に、数字としての成果は大きくはありませんでしたが、収穫はありました。特に母性保護については、制度を活用している職員が増えています。

3年後のゴール	平成27年 結果	平成28年 結果	平成29 年 結果
看護師離職率を全国平均の11%にする	18.5%	13.1%	18.8%
4～5年目以降の看護師定着を3.2%→7%	3.2%	11%	12% 達成
6～9年目以降の看護師定着を8.7%→10%	8.7%	9.4%	7.2%
時間外勤務削減を平均時間15.7時間→10時間以下	15.7時間	17.6時間	16.2 時間
有給休暇取得日数を 5日→7日を目指す	5日	4.32日	5.4日
女性の母性保護の制度認知に対する指標を 0.3→1.6	0.3	0.4	0.5
育児の制度認知に対する指標を 1.6→5.5	1.6	2.2	3.0
介護の制度認知に対する指標を 0.5→1.2	0.5	0.8	1.2 達成
看護ケアに費やす時間を十分にとることができる 43.7%→60%	43.7%	44.9%	43.2%

2. 3年間の活動からの収穫

このWLB推進活動は、看護部以外の協力メンバーの意見がとても参考になりました。他部署の協力メンバーからは当初、「人員不足である自分の職場で、時間外の削減や有給休暇取得は難しい」と前向きではありませんでした。また、看護部と自分の部署は違うなど、意見の接点が見えてこないままスタートしたのも事実でした。ですが、お互いの部署を知り、情報交換することで協力できることは何かの姿勢に変わり、実際にこのWLBの取組みで休暇取得や制度利用に繋がったという言葉が聞かれました。しかし、「期間が短すぎた」「今後もやり続けなければ発展していかない」という意見もあり、WLB推進活動の継続が今後の課題となりました。

## 他部署のWLB協力メンバーの声



## さらなるWLB実現にむけて

1. 経営幹部、各管理者、職員に対しての意識と姿勢の改革を継続
2. 管理者の育成
3. 職場マネジメント



**WLB推進委員会**